

浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

「願以此功德」

慈光照護のもと、門信徒の皆様にはますますご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じます。本格的に寒くなつて参りましたがいかがお過ごしでしょうか。

標題の『願以此功德』ですが、みなさん聞いたことないという方はいらつしやらないでしょう。月参りの仏説阿弥陀経でも、秋参り（報恩講）の正信偈でも、年忌法要の仏説無量寿経や仏説観無量寿経でも、勤行の最後には節はいろいろ違つても、必ず、

願以此功德 平等施一切
同発菩提心 往生安楽国

の四句が拝読されますね。これを聞かれると「あ、そろそろお経も終わりだ。お茶を入れなげや」と思われる方もいらつしやるのではないかと思ひます。実際に台所の方に行かれる方もいらつしやいます。よつこらしよとくずしていた足を直される音も聞こえてきます。でもこれは決してお経の終わる合図では

ありません。親鸞聖人が選定された七高僧の第五祖の中国の善導大師が書かれた『観経疏』という書物（仏説観無量寿経の注釈書）の冒頭にある、『帰三宝偈』という偈の中の最後に出てくる四句なのです。この書き下し文は、

御正忌にお参りください。 19日（木） 昼2時・夜7時

「御正忌が厳修されます」

いるような気がします。

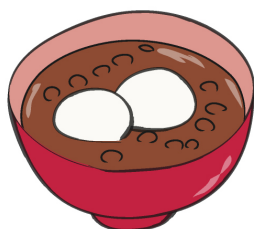
日	14時～	19時～
19日（木）	大速夜 正信偈 法話二席	初夜 十二礼 御伝鈔拝読 法話一席

福井市教應寺住職
本願寺布教使
奥田 順誓師です。

「願はくはこの功德をもつて、平等に一切に施し、同じく菩提心を発して、安楽国に往生せん。」となります。この御文は『回向句』と言われますが、私たちの方から仏さまや亡くなられた方々に対して供養したりできるというわけではありません。私たちが回向（回し向ける）というとき、それはすべて阿弥陀仏からの回向であり、願ひも功德も菩提心（仏の悟りを求める心）もすべて阿弥陀如来から先手を打つて私（平等に一切に）に向けられていたことを聞かせていただいで、みんな等しく安楽国（浄土・極楽浄土）に往生させていただきます。つまり、お経さまの最後にこの四句を拝読すること、

御正忌は親鸞さまのご命日をご縁にお勤まりになる法要です。今年七百五十二回忌にあたりますね。西本願寺では一月に『御正忌報恩講』が九日～十六日（新暦でのご命日）までの七昼夜勤められます。この七昼夜というのが意味があるそうで、親鸞さまがご病気になるられて床に伏されてから約七日間のちに亡くなられたということ、親鸞さまを「お看取りする」という意味があるのだそうです。そういえば本願寺でもご命日の前の晩に

『通夜布教』といって夜通したくさんの布教使の方が布教をされます。報恩講のご満座がお日中（午前の部）に執り行われることが多いのも、親鸞さまが亡くなられたのが正午頃だったからだということなんだそうです。知らないことばかりでした。当山では今月の十九日にお勤まりになります。寒い時期ではありませんが、皆様のお参りをお待ちいたしております。今年も昼夜ともに温かいぜんざいがふるまわれます。ぜんざいも、昔から多くの寺でふるまわれているようですが、これも「親鸞さまが小豆が好物だったから」って、知ってました？



「報恩講法要！ようこそそのお参りでした」

去る十月十六日と十七日に報恩講法要を執り行いましたところ、悪天候にも関わらず、大速夜には十三名（昨年十五名）、お初夜には九名（昨年は十名）、ご満座には三名（昨年と同じ）のお参りをいただきました。ようこそのお参りでございました。ただ、たいへん風が強く、前の日に住職と若院とでなんとか吊った五色幕（写真で扉の外側にちよこつと見えている幕。中川さんが寄付してください

た、たいへん立派なものですね。が飛ばされて落ちてしまいい、泥まみれになってしまいました。申し訳ありません。ずいぶん年月も経っているのですが、この機会にお洗濯に出すことになりましたが、専門の業者さんをお願いしたところ、クリーニング代がなんと5万円！ため息がでるばかりです。これからは強風が予想される時は吊るのをやめるなどの対策が必要かと思えます。また、住職も高齢になって参りましたので、幕を吊るときにもどなたかお手伝いをいただけますとたいへん有り難いです。なお、ご門徒のみなさまには報恩講にたくさんのお蝋燭代ありがとうございます。また、中川さん（滝谷）、奥平さん（丸岡）にはそれぞれお仏飯30kgをお供えいただきました。重ねてお礼申し上げます。有り難うございました。



「庫裏の雨漏りと屋根の腐食」

今春の庫裏の講師室（座敷）の白蟻さん被害対策工事から間もないのですが、玄関の突き当たり



の廊下の雨漏りが尋常ではなくなってきました。このままでは屋根も天井も腐ってしまいます。瓦屋さんにも見ていただいたところ、屋根の土台が相当痛んでいるということだそうです。とりあえず応急処置で雨漏りは止めていただきましたが、春になったら土台をなんとかしないといけないということで工事をすることになりました。ご門徒のみなさまにはご心配をおかけいたします。

では、御正忌でお会いしましょう！
住職 内嶋洪淳（うちじま こうじゅん）
090-8261-3090
若院 内嶋淳浩（うちじま あつひろ）
090-8967-7902
メールアドレス
soichiro4989@gmail.com
※携帯電話に登録しましょう！